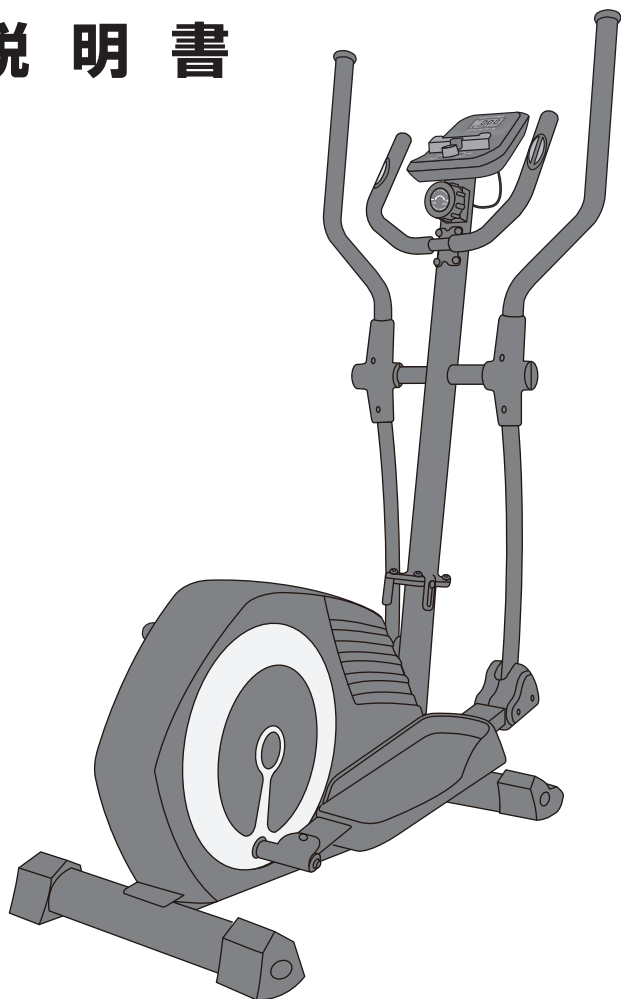
ALINCO FITNESS

品名
トレックトレーナー1000

品番
AFC1000

取 扱 説 明 書

INDEX

安全にご使用していただくために

取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分理解された上でご使用ください。
●改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。ご了承ください。
●無断の複製は固く禁じます。

ご使用前に必ずお読みください

この度は、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
この取扱説明書は、本製品の組立と使用上の注意及び警告事項について詳しく記載しています。
本製品をご使用になる前には、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、記載内容に従って正しくお使いください。また、お読みになった後も、必要なときにいつでも調べられるよう、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。なお、**本製品のご使用制限は体重120kg以下・連続使用時間30分までとなります。**（機器の連続使用によって熱を帯びた部品を冷却し、故障を防止するため、また、機器を末永くご使用いただくため、**連続使用後、約1時間は本製品を休ませてください。**）

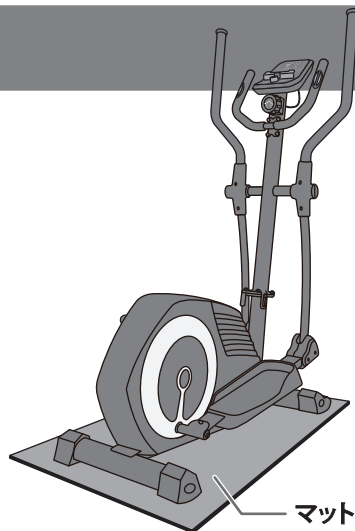
⚠ 本製品のご使用は、注意を怠ると大変危険です！

家庭でおこなうトレーニングは、ちょっとした不注意で大きな事故につながります。
本書に記載されている内容を守り、自己の責任のもとでトレーニングをおこなってください。
お客様の不注意によるいかなる事故も、弊社としましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠ 床面保護について

必ず床面保護マットを敷く

使用中および製品の移動・保管の際には必ず床面を保護するマットなどを敷いてください。直接床材の上で設置や保管をした場合、床面の材質（塩化ビニル製など）によっては床材が変色する場合があります。（弊社では専用マットを別売しております。）

必要マットサイズ：550 × 1,000 mm以上

警告・注意事項

安全のために、必ずお守りください。

取扱説明書の警告及び注意内容は、危険の度合によって次の2段階に分けています。
表記されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従った使用法で点検・運動をおこなってください。

⚠ 警　告

記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷などを負うことが想定される内容です。

⚠ 注　意

記載されている内容を守らなければ、軽傷を負うかまたは物的損害の発生が想定される内容です。

絵表示の意味

- 絶対におこなわないでください。
- 必ず指示に従ってください。

分解をしないでください。

確認をしてください。

本書記載の警告及び注意事項を遵守されずにご使用されて生じたいかなる事故につきましても、弊社としましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
また、本書記載の警告及び注意事項に該当すると思われる場合は本製品の組立及び使用はせず、ただちに弊社カスタマーサービス課へお問い合わせください。

●各ページには安全に使用していただくための注意点も表記しております。よくお読みいただき、記載している内容を十分ご理解の上、使用してください。

警告・注意事項

使用前の警告・注意事項

警　告

- 本製品は家庭用のフィットネス機器です。学校・スポーツジム・業務用など、不特定多数の方による使用はしないでください。
また、運動以外の目的では使用しないでください。
- 本製品は健康の維持・増進を目的とした製品であり健康な方を対象としています。
次に該当する方は本製品を使用しないでください。
  - 医師が使用を不適当と認めた方
  - ペースメーカーなどの体内植込型医用電気機器を使用している方

  次に該当する方は必ず医師に相談の上、使用してください。
  - 医師の治療を受けている方や、特に身体の異常を感じている方
  - 知覚障害のある方
  - 妊娠している、または妊娠の疑いのある方
  - 皮膚疾患のある方
  - 血行障害、血管障害など循環器に障害をお持ちの方
  - 骨粗しょう(鬆)症など骨に異常のある方
  - 心臓に障害のある方
  - 呼吸器障害をお持ちの方
  - 高血圧症の方
  - 内臓疾患（胃炎、肝炎、腸炎）などの急性症状のある方
  - 悪性の腫瘍のある方
  - リウマチ、痛風、変形性関節症などの方
  - 過去の事故や疾病などにより背骨に異常のある方や背骨が曲がっている方
  - 腰痛（椎間板ヘルニア、脊椎すべり症、脊椎分離症など）のある方
  - 脚、腰、首、手にしびれのある方
  - 静脈りゅう(瘤)などの重度の血行障害や血栓症などのある方
  - リハビリテーション目的で使用される方

  上記以外に身体に異常を感じているとき
- 小学生以下及び１人での運動に不安を感じている方、他者から見てそう感じられる方が使用される場合、またはリハビリテーションの目的で使用される場合は、成人（健常者）の方の介添えの上、使用してください。また、小さなお子様やペットのいる場所での運動・保管はしないでください。
- **本製品の使用体重制限は最大１２０ｋｇです。**
体重が１２０ｋｇを超える方は使用しないでください。使用中、機器が破損するおそれがあり、重大な事故を引き起こす原因になります。
- **本製品の連続使用時間は最大３０分です。**
３０分を超える連続作動はしないでください。また、使用後１時間は本製品を休ませてください。故障の原因になります。
- 使用前にはその都度、各部の部品が完全に固定されているか必ず確認してください。ボルト・ナットが緩んでいると使用中に部品が外れたりすることがあり、重大な事故を起こすおそれがあります。
- 使用前に、ハンドル取付部分がしっかり固定されており、運動しやすいように調節されているか確認してください。

注　意

- 室温が１０℃以下、３５℃以上の状態では使用しないでください。表示メーターが正常に表示しなくなるおそれがあり、駆動部品などの劣化も早めます。
- この取扱説明書及び保証書は、大切に保管されますようお願いします。紛失された場合、再発行はお受けしかねることがあります。

組立時の警告・注意事項

警　告

- 本製品を長期にわたり使用していただくため、ボルトの締まり、ピンの差し込み、金属バリなどの有無、変形やひび割れなどがないことを確認してください。
- 本製品の「組立時」「使用時」「移動時」にボルト・ナット・パイプ・駆動部分に手、指などを挟まれないように注意してください。また、必ず床面を保護するマットなどを敷いてください。
- 安全のため、組立の際は必ず軍手などを着用して、大人２人以上でおこなってください。
- 本製品を改造、もしくは付加及び部品を取り外した状態で使用した場合、重大な事故を起こすおそれがありますので絶対にしないでください。

注　意

- 組立の際は十分に広い場所を確保し、敷物を敷くなどして床や家具などにキズが付かないよう、注意してください。
- 組立作業中、カッターナイフなどの刃物や工具を使用する場合は、取り扱いに十分注意してください。
- 組立前には部品が全て揃っていることを確認してください。もし揃っていない場合には、弊社カスタマーサービス課までご連絡ください。
- 組立完了後、本体や設置場所に大きなグラつきやガタつきがないことを必ず確認してください。

使用中の警告・注意事項

警　告

- 本製品への巻き込みを防ぐため、運動中は身体のサイズに合った運動着を着用し(ゆったりと余裕のあり過ぎる衣服は避けてください）、フード付きパーカーのひもや靴ひもは短く結んでおいてください。また、手、指や髪の毛などの巻き込みに注意してください。
- **裸足・靴下・ストッキングで本製品を使用するのは危険ですのでおやめください。**必ずゴム底の運動靴（ランニングシューズ、トレーニングシューズ）を履いて使用してください。運動靴を履かずに運動された場合、ステップの滑り止めで足裏を傷めたり、ステップと本体の隙間などに足の指を巻き込むなど思わぬ事故の原因となります。

警告・注意事項

- 乗降する際にハンドルにもたれかかったり、使用中に前後左右に激しくゆする運動、また周囲の人が使用者及び本製品を押したり引いたりする行為は安全性を損ない重大な事故を起こすおそれがありますので決してしないでください。
- 本体が左右に激しく揺れるほどアンバランスなこぎ方、逆回転での使用はしないでください。過激な運動は事故や故障の原因となります。
- 運動中は必ずハンドルを握ってください。
- 動作中のステップや、ハンドルとステップの連結部分には決して直接触れないでください。また、本体カバーを外した状態では使用しないでください。回転に巻き込まれ重大な事故を起こすおそれがあり大変危険です。
- ピンやボールペン、装飾品などをポケットに入れたり、身に着けたままでの運動は絶対にしないでください。
- 本製品を脚立や踏台などの代わりに使用しないでください。
- 本製品は１人用です。同時に２人以上で使用しないでください。
- 使用中・使用中以外でも本体の駆動部に手指などを入れないでください。
- 健康のため食直後の運動は避けてください。
  また、飲食・喫煙をしながらや、飲酒後の運動はしないでください。
- 使用前には十分な準備運動をおこない、身体をほぐしてください。また運動後も同様に身体をほぐしてください。直接トレーニングされますと筋肉などに損傷を及ぼす原因になります。
- 運動は少し疲れる程度の運動量を毎日継続しておこなうのが良く、無理な運動は筋肉を傷めるばかりか運動効果も少なくなります。
- 次のような症状が出たときは、運動を中止してください。（めまい、ふらつき、冷や汗、吐気、心拍の乱れ、動悸、胸の圧迫感、けいれん、腱・靭帯の痛み、眠気、その他心身の異常）
- 保護者の方は小さなお子様が本製品を遊具として使用しないよう十分注意してください。
- 各部を調節するときには手指などを挟まないよう注意してください。
- 事故・破損の原因となりますので、表示メーターや本体カバーに寄り掛かったり、腰を掛けたりしないでください。

注　意

- 本製品は必ず屋内で使用してください。浴室など湿気の多い場所や屋外、倉庫、ベランダ、軒下などのチリやほこり、砂、ペットの毛などが多い場所、熱器具の近くでは使用しないでください。サビや傷み、故障の原因になります。
- 本製品はしっかりとした水平な床の上に設置し、**使用中及び製品の移動・保管の際にも必ず床面を保護するマットなどを敷いてください。直接、床材の上で使用や保管をした場合、床面の材質（塩化ビニル製など）によっては床材が変色する場合があります。**
  また、畳の上では使用しないでください。畳に損傷を与えます。(弊社では専用マットを別売しております)
- 運動中に身体を壁や柱にぶつけないよう、広い場所で使用してください。

お手入れ・保管の注意事項

注　意

- 電池の液漏れによる故障を防止するため、長期間（１週間以上）使用しない場合は、表示メーターの電池を抜いて保管してください。
- 保管場所は本製品でつまずかない場所に置き、特に小さなお子様が勝手に触ることのないよう、必要に応じて梱包などを施してください。
  また、直射日光が当たる場所や高温・多湿な場所には保管しないでください。
  サビや傷み・故障・部品劣化の原因になります。
- 特に注意していただきたい内容をラベルにして本体に貼っています。ラベルをはがしたりしないでください。
- 弊社指定の修理技術者以外の方が本製品を分解したり改造・修理はしないでください。事故や故障の原因になります。
- 小さなお子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない方が１人で本製品に触れ、誤操作をしないように十分注意してください。誤った使用方法は事故の原因になります。
- 万一、故障その他のトラブルが発生した場合には、弊社カスタマーサービス課までご相談ください。
- 本製品保管の際にも必ず、床面を保護するマットなどを敷いてください。
- 本製品を長期にわたり使用していただくため、定期的に汚れなどを拭きとってください。また、汚れが落ちない場合は、中性洗剤のうすめ液で拭きとってください。
- 本製品は、各部に樹脂を使用していますのでシンナー系や酸系の強い洗剤でのお手入れはしないでください。
- 長期間ご使用になられますと、サビや摩耗により部品などの劣化が起こる場合があります。
  お買上げ日より１年間を過ぎた製品、購入日が弊社にて確認できない場合は有償にて点検サービスをおこなっておりますので、弊社カスタマーサービス課までご相談ください。
- 長期間保管され再び使用する場合は、本書の記載事項を再確認のうえ使用してください。
  また、長期間使用されなくとも、油切れ及びサビの発生などが予想されますので、本書の記載事項を確認し、しばらく試運転をおこなって異常がないことを確かめてから使用してください。
- 環境保護のため、廃棄する場合は各自治体の取り決めに従ってください。

警告・注意事項

必ずハンドルを握る

本体が左右に揺れるほどのアンバランスな使用、逆回転での使用はしないでください。過激な使用は事故や故障の原因となります。

子どもに触らせない

小さなお子様が本製品を遊具として使用しないよう十分注意してください。

ハンドルの固定確認をおこなう

ハンドルが固定されていることを必ず確認してください。ハンドルが固定されていないと使用中に外れるなど、事故や破損の原因になりますので、必ず確認してください。

小さなお子様やペットのいる場所で使用しない

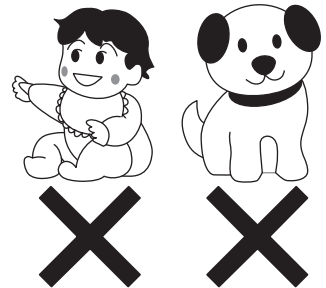
使用中以外も本体内部などの駆動部分に手指など入れたりせず、また物や動物、特に小さなお子様など、取扱説明書の内容を理解できない方を本製品に近づけないように十分注意してください。

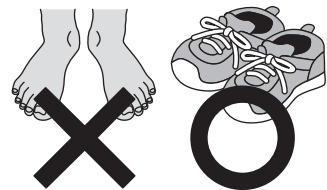
回転方向

巻き込み注意

巻き込みを防ぐため、身体のサイズに合った運動着を着用し、フード付きパーカーのひもや靴ひもは短く結んでおいてください。
また、手指や髪の毛などの巻き込みに注意してください。

裸足・靴下・ストッキングで使用しない

必ず運動靴を履いて使用してください。運動靴を履かずに運動された場合、ステップの滑り止めで足裏を傷めたり、ステップと本体の隙間などに足の指を巻き込むなど思わぬ事故の原因となります。

マットの上に設置し、ガタつきを確認する

本製品は床強度がしっかりとした水平な床の上にガタつきのないように設置し、使用中及び本製品の移動・保管の際にも必ず床面を保護するマットなどを敷いてください。直接、床材の上で使用や保管をした場合、床面の材質（塩化ビニル製など）によっては床材が変色する場合があります。
（弊社では専用マットを別売しております）

移動はマットの上で

本製品は、キャスターで移動可能です。移動の際はハンドルを必ず握ってください。サイドハンドルを持つと不意に動く場合があり危険です。また、キャスターによって床を傷つけないように必ず床面を保護するマットなどを敷き、その上を移動させてください。本体は40°以上傾けないでください。

各部の名称 部材及び付属品

梱包を開けましたら組立をおこなう前に、必ず各部品・付属品が揃っていることを確認してください。

表示メーター

ハンドル

グリップセンサー

テンションダイヤル

グリップセンサーコード

ハンドル取付ボルト
＋ワッシャー×４組
（本体支柱に仮止め）

本体支柱

支柱連結ボルト＋スプリングワッシャー
＋ワッシャー×４組

本　体

リアレッグエンドキャップ

リアレッグ

サイドハンドル
×２本

メーターコード

サイドハンドル取付ボルト
＋ワッシャー＋ナット×４組

サイドハンドルジョイントカバー
左右×各１組

サイドハンドルジョイントカバー
取付ネジ×８本
（サイドハンドルに仮止め）

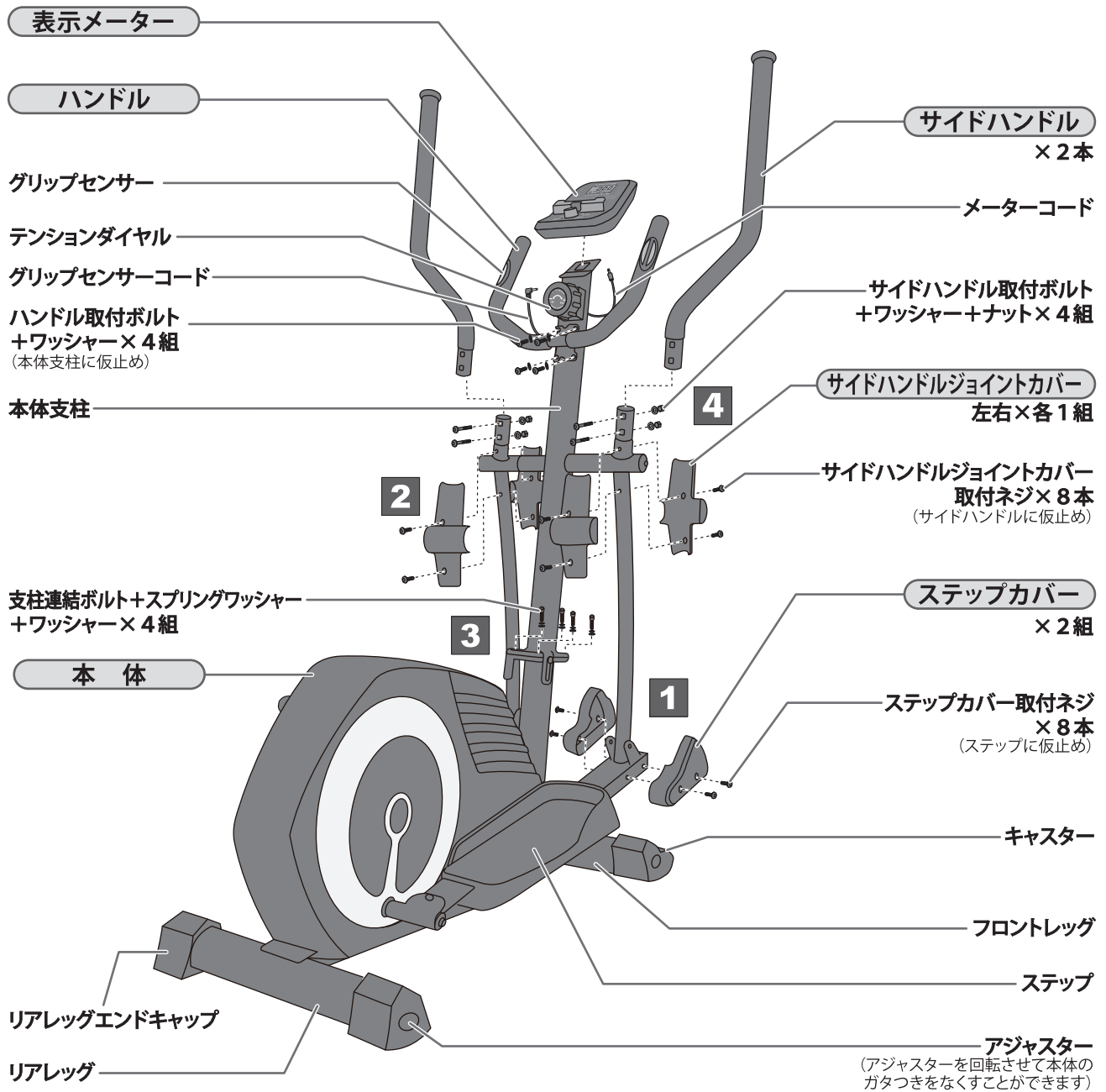
ステップカバー
×２組

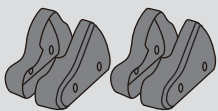
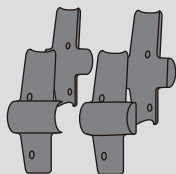
ステップカバー取付ネジ
×８本
（ステップに仮止め）

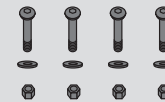
キャスター

フロントレッグ

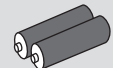
ステップ

アジャスター
（アジャスターを回転させて本体の
ガタつきをなくすことができます）

付 属 品

1 ステップカバー
×２組

2 サイドハンドル
ジョイントカバー
左右×各１組

3 支柱連結ボルト
＋スプリングワッシャー
＋ワッシャー×４組

4 サイドハンドル取付ボルト
＋ワッシャー＋ナット×４組

工具　２種
・ボックスレンチ
・ドライバー付き六角レンチ

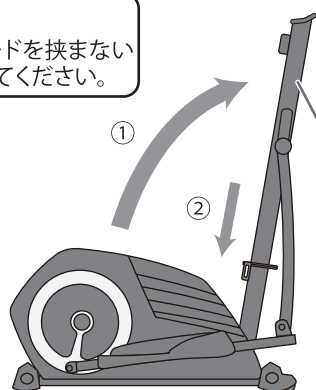
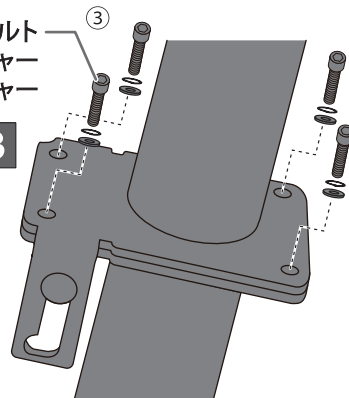
単３乾電池　２本

※本製品に最初からついている電池は、テスト用の電池ですので残量がわずかしかありません。ご使用前には新しい電池をご購入ください。

必ず床面を保護するマットなどを敷いてください。また、弊社では床面を保護するエクササイズフロアマット（専用マット）を販売しておりますので、お買い上げいただいた販売店または弊社カスタマーサービス課までお問い合わせください。

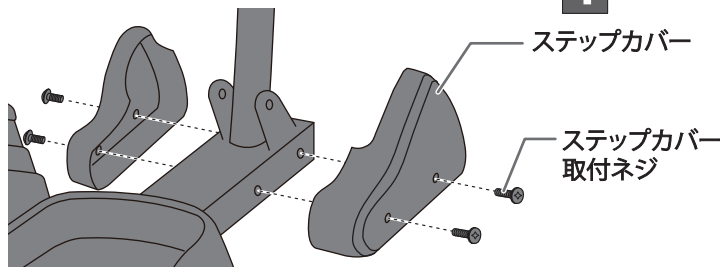
組立手順（床を傷つけたり床材を変色させないように、必ず床面を保護するマットなどの上で組立手順に従い組み立ててください。）

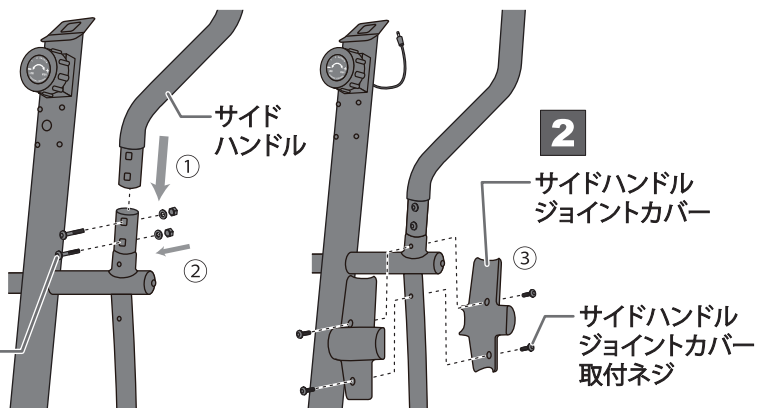
必ず、軍手などを着用し、大人2人以上で組み立ててください。各部の組立は指で締める程度に仮止めし、すべて作業が終わった後、付属の工具などを使ってしっかり増し締めしてください。

1 本体支柱を展開し、固定します

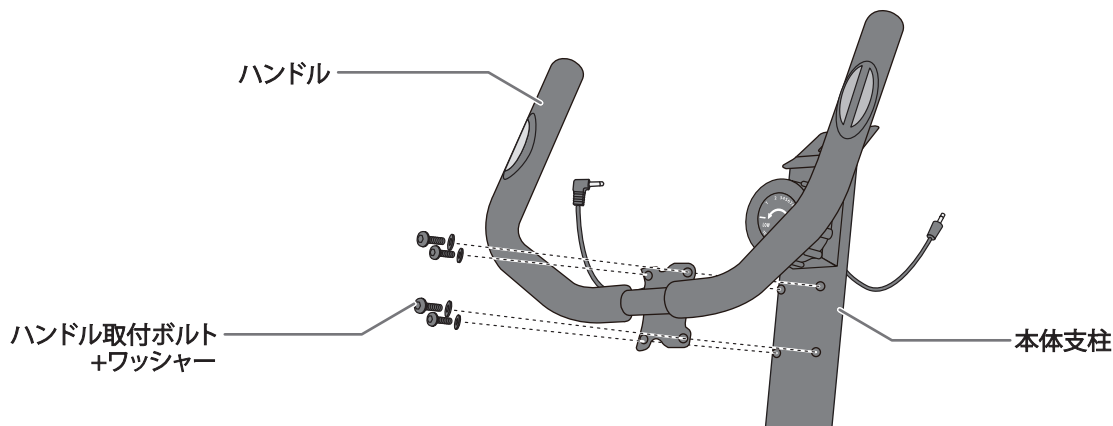
①ゆっくりと本体支柱を起こします。
②支柱連結部を差し込みます。
③ 3 支柱連結ボルト＋スプリングワッシャー＋ワッシャー（４組）を使用して支柱を固定します。

2 ステップカバーを取り付けます

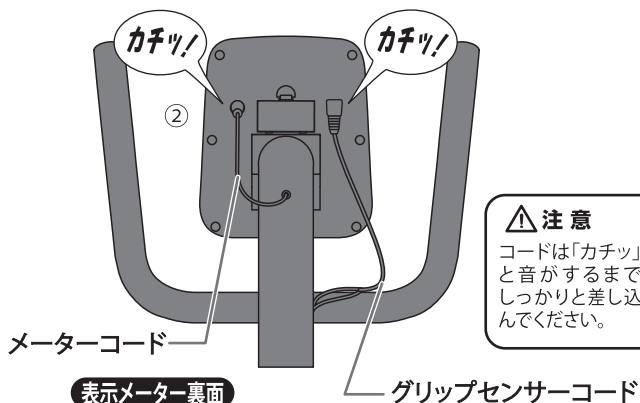
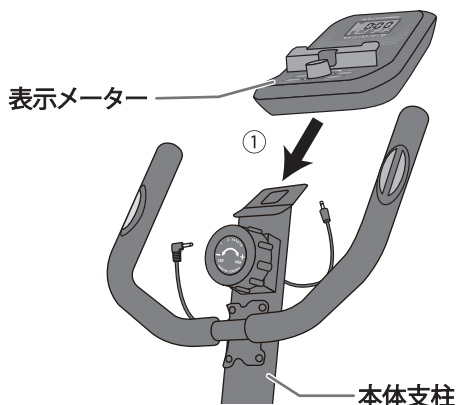
ステップカバー取付ネジ（４本）を使用し、 1 ステップカバーをステップに取り付けます。

⚠注意
ステップカバーは前後の向きがあります。

3 サイドハンドルを取り付けます

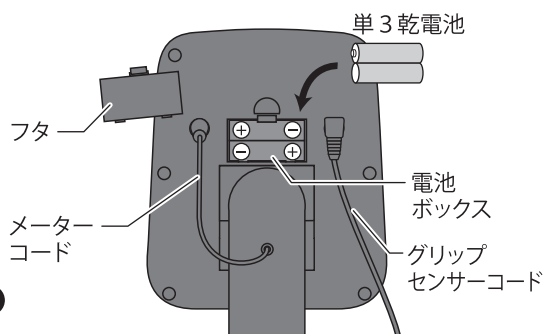
① サイドハンドルを差し込みます。
② 4 サイドハンドル固定ボルト＋ワッシャー＋ナット（２組）を使用し、サイドハンドルを取り付けます。
③ サイドハンドルジョイントカバー取付ネジ（８本）を使用し、 2 サイドハンドルジョイントカバーを取り付けます。

組立手順（床を傷つけたり床材を変色させないように、必ず床面を保護するマットなどの上で組立手順に従い組み立ててください。）

4 ハンドルを取り付けます

ハンドル取付ボルト+ワッシャー４組を使用し、ハンドルを本体支柱に固定します。

5 表示メーターを取り付け、コードを接続します

① 本体支柱に表示メーターの溝を合わせて表示メーターを差し込みます。
② 表示メーター裏面に本体支柱から出ているメーターコードとハンドルから出ているグリップセンサーコードをつなぎます。

6 表示メーターに電池を入れます

表示メーター裏側の電池ボックスのフタを外し、
単３乾電池２本を入れます。

注意
電池の極性を正しく入れてください。

※ 組立完了後、組立手順１～４の全てのボルト・ナットを付属工具で再度しっかりと増し締めしてください。
※ 組立完了後、表示メーターが作動しない場合は、組立手順５のコードの接続、組立手順６の乾電池の極性方向（＋－）をご確認ください。

チェックポイント

トレーニングを始める前にもう一度チェックしましょう

チェック１ …各部にグラつきなどがないですか？

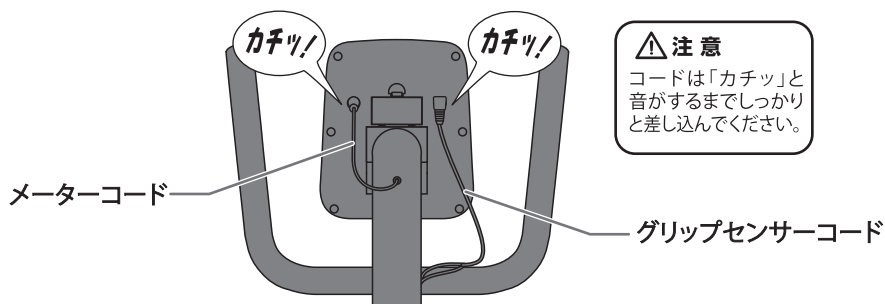
→ Ｐ6･7「組立手順１～４」を参照の上、付属工具で取付部をしっかり締めてください。
→ リアレッグエンドキャップ側面のアジャスターを回し、本体がグラつかないように調節してください。

チェック２ …ステップをこぐとスムーズに回転しますか？

→ ステップがうまく回転しない場合は弊社カスタマーサービス課までお問い合わせください。
※ ステップをこぐと本体内部のホイールが回転し、少なからずホイールの回転音とマグネットの引力による小さな振動が発生しますが異常ではございませんので予めご了承ください。

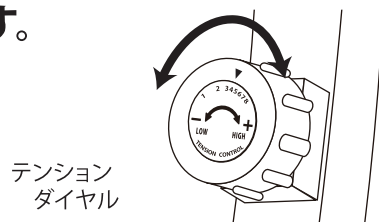
チェック３ …コードは正しく接続しましたか？

→ コードがしっかり差し込まれていないと表示メーターがカウントしません。
Ｐ7「組立手順５」を参照の上、コードの接続をご確認ください。

⚠注 意
コードは「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

トレーニングの負荷について

ステップの負荷は８段階で調節することができます。

ステップ負荷1～3……………〈軽い〉ウォームアップ用
ステップ負荷4～6……………〈普通〉メインエクササイズ用
ステップ負荷7･8………………〈重い〉ハードトレーニング用
★負荷はご自身の体力に合わせて調節してください。

テンション
ダイヤル

移動方法

移動はマットの上で。

本製品は、キャスター移動が可能です。
ハンドルなどがグラついていないことを確認し、ハンドルを持ち、キャスターで移動させてください。

⚠注 意
移動の際、キャスターで床を傷つけないように床面を保護するマットなどを敷き、その上を移動させてください。
本体は40°以上傾けないでください。

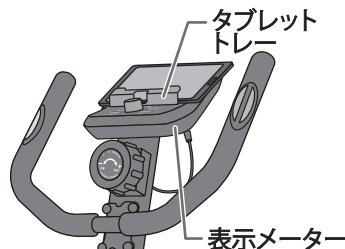
⚠注 意
移動の際はサイドハンドルを持たないでください。不意に動く場合があり危険です。

表示メーターの機能

この表示メーターは速度/回転数・タイマー・距離・カロリー・心拍数を個別に表示します。

オートスタート
運動を始めると自動的に表示を開始します。

オートパワーオフ
運動を中止してから数分後に自動で表示が消えます。(電池の消耗を防ぎます。)

タブレットトレー
表示メーターにタブレット端末を置くことができます。

メイン表示部
モードボタンで選択した項目を表示します。
スキャン表示の場合、数秒ごとにメイン表示部の表示を自動切替します。

スキャン
速度／回転数→タイマー→距離→カロリー→心拍数

固定表示部

① **速度／回転数** km/h ／RPM
運動中の速度と１分間あたりの回転数を交互に表示します。

② **タイマー** 分:秒
運動経過時間を表示します。

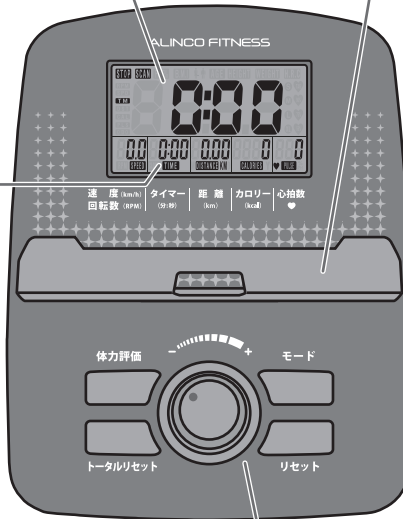
③ **距　離** km
走行距離を表示します。

④ **カロリー** kcal
運動中の消費カロリーを表示します。
注）同じ運動をしてもステップ負荷やスピード、個人差によって消費するカロリーは違います。
本製品の表示メーターではそれらを考慮した表示はできませんので、あくまで一般的な目安としてください。

⑤ **心拍数** 拍/分
測定した心拍数を表示します。
（P１２「グリップセンサー使用上の注意」参照）

- 運動を開始しても表示されない場合には、再度Ｐ７「組立手順５」のコードの接続を確認してください。
- 表示メーターの表示が薄くなってきた場合は、電池の残量不足ですので新しい電池と交換してください。
- ボタン操作の際は強く押さないでください。破損の原因になります。

ALINCO FITNESS
0:00
速度(km/h) 回転数(RPM) タイマー(分:秒) 距離(km) カロリー(kcal) 心拍数
体力評価　モード　トータルリセット　リセット

⚠ 注意
- 運動中の振動で落下するような不安定な置き方はしないでください。
- 万一に備え、タブレット端末の大切なデータは必ずバックアップをしておいてください。
- タブレット端末のサイズや置く方向によっては運動中の振動で落下する危険があります。置いたときに不安定になる端末は置かないでください。
- タブレット端末の落下等による破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

操作部

モードボタン
メイン表示部に表示される項目の切替と目標値の設定に使用します。

＋/－ダイヤル 停止中のみ
メイン表示部に表示されている項目の目標値入力をします。

リセットボタン
メイン表示部に表示されている項目のリセット（０に戻る）をします。

トータルリセットボタン
全ての項目のリセット（０に戻る）をします。

体力評価ボタン 心拍測定時のみ
体力評価を開始します。Ｐ１１「体力評価」をご覧ください。
※心拍測定中でなければ機能しません。

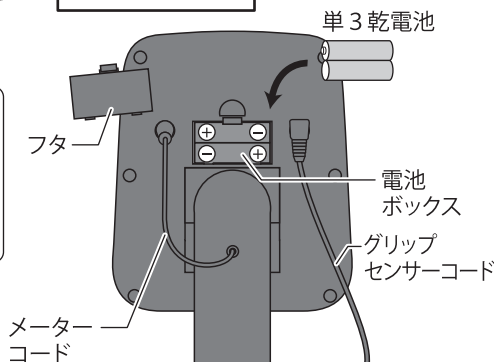
電池交換 この表示メーターは単３乾電池２本を使用します。

表示メーターが正しく作動しなくなったときには、表示メーター裏に入っている乾電池を新しいものに交換してください。

⚠ 注意
- 電池の極性（＋・－）を正しく入れてください。間違えると表示メーターが故障するおそれがあります。
- 乾電池を入れ替える際は古い乾電池を抜いて、しばらく（約１０秒）してから新しい電池を入れてください。すぐに入れ替えると異常な数値が表示されることがあります。

※ 本製品に最初から付いている電池はテスト用のため、新しい電池に比べ容量がわずかしかありません。
使用前には新しい電池を購入してください。

⚠ 注 意
電池の極性を正しく入れてください。

表示メーター裏面
単３乾電池
フタ
電池ボックス
グリップセンサーコード
メーターコード

表示メーターの機能／操作方法

① 表示メーターに電池をセットする
② トータルリセットボタンを押す
のいずれかで、初期画面に戻します。

1-1 そのままトレーニングする場合

1-2 目標値を設定する場合

タイマー・距離・カロリー・心拍数の目標値を設定

【モード】ボタンを押すたびに、メイン表示部に表示される項目が切り替わります。

「タイマーの設定」→「距離の設定」→「カロリーの設定」→「心拍数の設定」→「タイマーの設定」

【＋/－】ダイヤルを回して、表示されている項目の目標値を入力することができます。

【モード】ボタンを押して決定します。

目標値を設定すると・・・

▶「タイマー」「距離」「カロリー」：運動を始めるとカウントダウン表示になり、0になるとアラームが鳴ります。

▶「心拍数」：測定値が、設定した心拍数を超過すると心拍数の表示が点滅します。

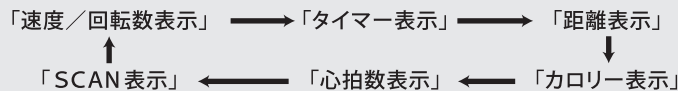
ポイント 複数の項目を同時に設定すると、それぞれの設定値に達する度にアラームが鳴り、実用的ではありません。目標値を１つに絞って設定するのがおすすめです。

2 運動の開始

ステップをこぎ始めると、表示メーターの各項目のカウントが始まります。
※目標値を設定している場合、その項目はカウントダウンしていきます。

●「速度／回転数」表示は、運動中に「速度（km/h）」と「回転数（RPM）」を交互に表示します。

●メイン表示部左上に SCAN マークが表示されているときには、メイン表示部に表示される項目は、自動的に切り替わっていきます。
【モード】ボタンを押すことでメイン表示部に表示される項目を選択することができます。

「速度／回転数表示」→「タイマー表示」→「距離表示」→「カロリー表示」→「心拍数表示」→「SCAN表示」→「速度／回転数表示」

3 運動の終了

運動を中止すると、表示メーターのカウントは止まります。
停止状態が数分間続くと、自動的にメーター表示が消えます。（電池の消耗を防ぎます。）
次に運動を開始すると自動的に表示を開始します。

●運動を開始してもメーター表示が出ない場合には、P7「組立手順５・６」を参照の上、再度確認してください。

●この表示メーターは操作を中止してから数分後、自動的に電源が切れる「オートパワーオフ機能」が付いています
途中で操作を中断し電源が切れた場合は、再度いずれかのボタンを押すと電源が入ります。

表示メーターの機能／体力評価

1 体力評価とは

運動によって上昇した心拍数（脈拍）が、運動終了後1分間のクールダウンでどこまで安静時の心拍数に近づくことができるか（回復できるか）を機械的に測定し、その日のあなたの調子を客観的に測定します。

- ●一般的に心肺機能の優れている人は、運動開始時の心拍数はゆるやかに上昇し、クールダウン時、直ちに回復しようとする働きがあります。
- ●逆に運動不足の人は運動を開始し、運動強度が強くなるに伴い心拍数が急上昇し、クールダウン時は、なかなか回復しない傾向にあります。

心肺機能向上の目安や、その日の体調のチェックにご利用ください。

●トレーニング効果の目安に！
●その日の調子を毎回チェック！

体力評価プログラムは、1分間のクールダウンを行い、「心拍数の初期値」と「結果後の心拍数」から6段階で体力を評価します。

2 体力評価開始

体力評価をおこなうには、まず運動をおこない、心拍数を上げる必要があります。（心拍数が上がっている状態であれば、どの表示画面でもかまいません。）

ある程度心拍数が上がった状態で、【体力評価】ボタンを押します。
ボタンを押した後、運動を停止します。
メイン表示部は60秒のカウントダウン表示になります。

体力評価測定画面

●心拍数を測定していない状態では、【体力評価】ボタンを押しても反応しません。
●カウントダウンの間は、身体を休めた状態で心拍数を測り続けてください。

3 体力評価結果表示

カウントダウン終了後、メイン表示部に「F1」～「F6」の表示結果が出ます。

体力評価結果表示画面

4 体力評価終了

再度、【体力評価】ボタンを押すと元の画面に戻ります。

グリップセンサー使用上の注意

血行が悪いと測定できません

血行が良くない状態では、血管の収縮による変化が微小なために読み取れない場合があります。
その場合には、血行をよくしてから測定してください。
また、グリップセンサーは強く握らず、軽く触れる程度に握ってください。

グリップセンサーは両手で握る

片手では測定できません。

濡れた手／乾燥した手では正しく測定できません

グリップセンサーは汗などで手の平が濡れていると、正しく測定できません。タオルなどで手を拭いてから測定してください。
また、手の平が乾燥しすぎている時も測定しにくくなります。

心拍数測定ができなくなった時には

グリップセンサーは、静電気の影響を受けると正しい心拍数を測定できなくなります。その際には、表示メーター裏側の乾電池を抜き、10秒以上たってから再度入れなおしてください。電池を抜くことによって、コンピューターを初期状態に戻します。

● このメーターは、医療機器ではありません。メーター上の数値はあくまで運動の目安としてご使用ください。

お手入れ方法

本製品を長期にわたり使用していただくため、定期的にお手入れをしてください。

■ 本　　体 ：汚れが落ちない場合、中性洗剤の薄め液を柔らかい布などにつけて拭き取ってください。

⚠注意
●シンナー系や酸系の強い洗剤でのお手入れはしないでください。
●硬い布で拭くとキズや破れの原因になりますので使用しないでください。

■ 表示メーター ：乾いた柔らかい布などで乾拭きしてください。
■ 各ボルト類 ：長期の使用により緩んでくることがあります。使用中にパーツがはずれると、重大な事故を起こすおそれがありますので、定期的に締めつけを確認してください。

故障かな？と思う前に

下記の項目を一度チェックしてください。

症　状	チェック箇所
●表示メーターが作動しない ・全ての項目が「888」と出る。 ・異常な数値が出る。	○ 乾電池の＋－をご確認ください。 ○ P7「組立手順５」のコードの接続部をもう一度ご確認ください。 ○ 表示メーターの乾電池を抜き、10秒以上たってから入れ直してください。
●心拍計が作動しない または数値が乱れる	○「グリップセンサー使用上の注意」（本頁上）をお読みください。 ○ 表示メーターの乾電池２本を新しい乾電池に交換してください。 ○ ステップを少しこいでから、もう一度測定してください。
●ステップがスムーズにこげない	○ ステップを逆方向に数回こいでください。 （内部のチェーンベルトにずれが生じた場合、逆回転させることによって補正されます。）
●ステップをこぐと異音がする	○ 各ボルト類はしっかり固定されていますか？組立手順に従って各ボルト類を再度しっかりと工具で締め付けてください。
●本体がガタつく	○ 本製品の設置場所が水平か、確認してください。 ○ 本体レッグ側面のアジャスターを回し、ガタつかないように調節してください。

上記チェックをおこなっても直らない場合、またはその他の状況が発生した場合には、弊社カスタマーサービス課までお電話またはFAXでその状況を伝えてください。その際、上記以外の確認ポイントを説明させて頂く場合がありますがご協力の程お願い致します。

お問い合わせは　カスタマーサービス課　0120-30-4515　FAX：072-678-6410
※受付時間　10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 16:00（土・日・祝祭日、弊社休業日を除く）

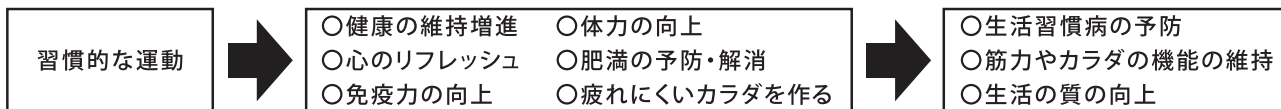
トレーニングについて

運動のすすめ

私たちのカラダは、20歳前後をピークにして歳とともに衰えはじめますが、30代、40代の働きざかりに入ると、職場や家庭での責任からストレスも重なり、心身の衰えは加速される一方です。しかし、普段から、カラダを動かして、適度な運動を続けていれば、カラダの衰えはゆるやかなものとなり、運動をする人としない人では、格段の差が出てくるものです。
毎日を笑顔で過ごすためにも、運動はなくてはならないものなのです。

習慣的な運動

○健康の維持増進　○体力の向上
○心のリフレッシュ　○肥満の予防・解消
○免疫力の向上　○疲れにくいカラダを作る

○生活習慣病の予防
○筋力やカラダの機能の維持
○生活の質の向上

自分に合った運動

健康づくりのために運動が必要といっても、急に激しい運動を長時間おこなわないようにしてください。どんな運動をおこなう場合でも、安全が確保されている必要があり、そのためには、次のような事項に注意が必要です。

○翌日まで疲労が残らない。
○急に運動の強度を上げない。
○運動中や終了後に、苦痛を感じない。
○水分の補給、保湿に注意する。
○十分な睡眠をとっていること。
○体調の悪いときは休む。
○他の人と会話しながら続けられるレベルの運動。

【セルフチェック】

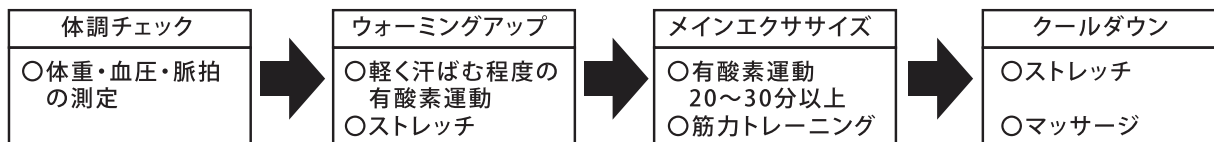
運動前のチェック	運動中のチェック
二日酔い	急にめまいがする
めまいがする	激しい疲労感がある
吐き気がする	冷や汗が出る
全身がだるい	吐き気がする
熱っぽい	胸が苦しい、痛い
睡眠不足	呼吸が苦しい
血圧が高い	ふらつきがある
脈がいつもより多い	脈の乱れ

トレーニング手順

体調チェック
○体重・血圧・脈拍の測定

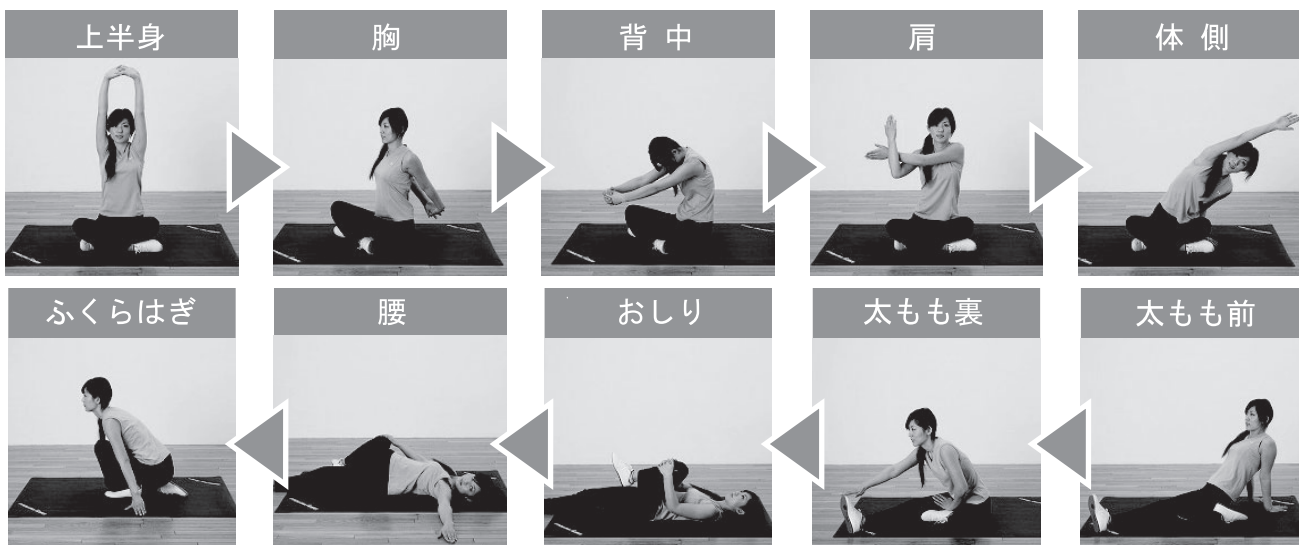
ウォーミングアップ
○軽く汗ばむ程度の有酸素運動
○ストレッチ

メインエクササイズ
○有酸素運動 20～30分以上
○筋力トレーニング

クールダウン
○ストレッチ
○マッサージ

※トレーニング内容は、ストレッチや有酸素運動、筋力トレーニングをバランスよくおこないます。
※メインエクササイズは、目的に合わせた時間、負荷でトレーニングをおこないます。

【 運動の注意点 】
○バランスのとれた体力づくりをしましょう。○運動は継続しないと、それまで得られたトレーニング効果は徐々に薄れてしまいます。
○各自の年齢や体力、体調などを考慮しておこないましょう。○負荷は時間をかけて少しずつ上げておこないましょう。

ウォーミングアップとクールダウン　～ウォーミングアップやクールダウンにはストレッチが効果的です～

【ストレッチの効果】○柔軟性を高める。○ケガや障害の予防。○血流を促進して、疲労回復。○リラグゼーション効果。

【ストレッチの注意点】
○無理をして力いっぱいにカラダを伸ばしたり、痛みを感じるところまで伸ばさないでください。
○ストレッチの間は、息を止めず、深呼吸をしながら、リラックスしておこないましょう。
○反動を使わず、ゆっくりと筋肉を伸ばし、伸ばしている筋肉を意識しながらおこないましょう。

トレーニングについて

有酸素トレーニング

有酸素運動は、脂肪をエネルギーとして運動をおこなうので、効果的に脂肪が燃焼でき、減量に最適なエクササイズです。また、長時間運動することもできるので、持久力の養成や強化にも役立ちます。本製品を使用することで、自宅でも快適に有酸素運動がおこなえますので、本機を継続的に使用して、健康なカラダを手に入れましょう。

有酸素トレーニングの一般的な効果

○心臓・血管の機能を高める。
○持久力が増し、スタミナのある体力をつくる。
○脂肪を消費して、肥満を予防する。
○生活習慣病の予防。

有酸素トレーニングの強度の設定方法について ～安全で効果的にトレーニングをおこなうための方法を2つ説明します～

① 「心拍数からみた運動強度の早見表(1分間の脈拍数)」から運動強度を設定する。

効果的に運動をおこなうには、目的に適した心拍数で運動することが重要です。下記「心拍数からみた運動強度の早見表」(下図左)は、最大心拍数の割合(目安)を早見表にしています。まず、「目的別の最大心拍数の割合について」(下図右)から運動目的を決定し、ターゲットゾーン(%)を確認してください。例えば、「脂肪燃焼」が目的であれば、最大心拍数の50～60%がターゲットゾーンになります。ターゲットゾーンより「心拍レベルが低い場合」は、運動強度(速度)をあげ、逆に「心拍レベルが高い場合」は、運動強度は、運動強度(速度)を落としてください。但し、あらかじめ設定されている運動強度は、体力レベルや個人の健康状態により、運動強度(速度)は異なりますので、あくまでも「運動の目安」として使用してください。

【心拍数からみた運動強度の早見表(1分間の脈拍数)】

負荷＼年齢	10代	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~以上
100%	210	205	200	195	190	185	180	175	170
90%	190	185	180	175	170	165	160	155	150
80%	175	170	165	160	155	150	145	140	135
70%	160	155	150	145	140	135	130	125	120
60%	145	143	140	135	130	125	120	115	110
50%	135	133	130	125	120	115	110	108	105
40%	125	123	120	115	110	108	105	103	100
30%	115	113	110	108	105	103	100	98	95

【目的別の最大心拍数の割合について】

ターゲットゾーン	運動目的
40～50%	リハビリ・運動不足解消
50～60%	脂肪燃焼
60～70%	心肺機能向上

心拍数のチェック方法

脈拍の取りにくい方や正確な心拍数を測定するには右図のように左手首内側上部を右手の中指と人さし指で押さえます。1分間を測るのは大変ですから、15秒間測り、その数値を4倍にして1分間の心拍数に換算しましょう。

② 安静時の心拍数から運動強度を設定する。

上記の「心拍数からみた運動強度の早見表」は、年齢を目安として目標の心拍数を算出しています。そのため、個人のレベルによっては、運動すると「きつく感じたり」、「非常に楽だ」ということがあります。より自身の目的に適した運動中の目標心拍数は、下記の計算式によってご自身の年齢と安静時の心拍数から算出できます。

$$\{(220-\text{年齢})-\text{安静時心拍数}\}\times\begin{matrix}0.5\ (\text{体脂肪の燃焼が目的})\\0.6\ (\text{心肺機能向上が目的})\end{matrix}+\text{安静時心拍数}=\text{運動の目標心拍数}$$

筋力トレーニング

日常生活での運動量が減少しており、筋力が低下しがちな現代人には、「筋力トレーニング」が必要です。筋力は貯蓄のようなもので、何もしなければ毎年減っていきます。そうならないためにも筋力トレーニングを定期的におこなって、貯筋(筋肉を蓄えること)を増やす必要があるのです。有酸素運動だけでなく、「筋力トレーニング」を組み合わせて運動をすることでバランスの取れた身体作りができます。

筋力トレーニングの効果

- 基礎筋力の向上。
- 基礎代謝を高め、脂肪が燃えやすい身体をつくる。
- 姿勢や運動のパフォーマンスを整える。
- 腰痛・膝痛・肩こりなどの緩和および予防。

筋力トレーニングの注意点

- トレーニングの目的に応じて負荷を設定しましょう。
- 充分なウォーミングアップをおこないましょう。
- トレーニングの動作、フォームは正確におこないましょう。
- 呼吸は止めないようにしましょう。
- トレーニングしている筋肉を意識しましょう。

家庭で出来る筋力トレーニング

- 自分の体重を利用した自重運動。腹筋やスクワット、腕立て(プッシュアップ)など。
- ダンベルやリストアンクルウェイト(砂袋)などを利用したウエイトトレーニング。
- ゴムチューブの張力を利用したエクササイズ。

※筋力トレーニングの方法は数多くあり、実施する人の目的にあった方法で、楽しく、無理せず、そして継続的に運動をすることが大切です。ぜひ、筋力トレーニングを取り入れて、「疲れにくいカラダ」、「引き締まったカラダ」を作りましょう。

■製品仕様

品　　　名：トレックトレーナー1000
品　　　番：AFC1000
サイズ(組立状態)：W630×D1,155×H1,540mm
質量(重量)：約38.0kg

電　　源：単3乾電池×2本
主な材質：スチール、PS(ポリスチレン)、ABS(アクリロニトリルブタジエンスチレン共重合合成樹脂)、PP(ポリプロピレン)、PVC(ポリ塩化ビニル)、PU(ポリウレタン)
使用体重制限：120kg
生産国：中国

修理・アフターサービスのご案内

アルインコ株式会社
フィットネス事業部 カスタマーサービス課
フリーダイヤル 0120−30−4515
受付時間 10:00～12:00、13:00～16:00(土・日・祝祭日、弊社休業日を除く)

左記以外受付
FAX：072-678-6410
E-mail：fcs-syuuri@alinco.co.jp
FAX又はメールでのお問い合わせの場合、回答に時間を要する場合がございます。予めご了承ください。

AFC1000：この商品のWEBページはこちら
※故障や異常が発生した場合、まずは本書P12「故障かな？と思う前に」をご確認ください。